

2025年2月17日

日本フォレスト株式会社
代表取締役 森山 和浩

**日本フォレストが再造林を行う「再造林活動」について、
J-クレジット制度※1のプロジェクトとして登録されました。**

九州地域の森林を守りたい！
再造林活動の取り組み×J-クレジットにより、森林経営を促進

日本フォレスト株式会社（代表取締役：森山和浩、本社：大分県日田市）は、九州地域における森林を守る取り組みとして、再造林事業に積極的に取り組んでおり、「木質資源の有効活用」を掲げ、木質チップ生産事業、木質バイオマス発電事業、小売電気事業を推進しておりますが、これらの原料となる『山林事業』でも、林業用苗木の生産や早生樹の育林技術の実証実験などに、地元自治体や森林組合と協力して、取り組んでおります。

この度、山林事業にて、伐採跡地を売りたい個人や法人より購入し、日本フォレストにて再造林を行う「再造林活動」について、J-クレジット制度※1のFO-003のプログラム型案件プロジェクトとして、登録されました。

再造林活動によって、発生したJ-クレジットを販売することにより、再造林活動に係る費用を軽減させ、九州地域の森林経営を促進していくことを目指します。

写真：「日田地域の街並みと山々」



※1 国が森林吸収活動や省エネルギー機器の導入などのCO₂をはじめとする温室効果ガスの吸収量や排出削減量を「クレジット」とする環境価値として認証する制度

■背景

全国各地で森林資源が活用される一方で、伐採後の森林管理が困難であることを理由に、伐採跡地における植林活動が進んでいない実態があります。林野庁によると、森林における主伐後の再造林率は30～40%で推移している状況とされています。実際、植林前の地拵え作業、苗木の運搬・植え付け、下刈り作業など、再造林初期における費用、および、作業量の負担は大きく、環境価値・経済価値が無くなってしまっている森林が九州地域においても増加している状況です。

森林の伐採跡地に植林活動を行わなければ、土壌保全や水源涵養、生物多様性、地球環境保全などの森林の持つ多面的な機能が失われ、地域における資源の枯渇につながってしまいます。

写真：実際に植林、下刈りをしているところ



■J-クレジット制度を申請した狙い

この状況を打破するためには、山林事業に対して、経済価値・環境価値を持つ企業が持続的に森林を保有・管理していくことが重要となります。

山林事業部を持つ日本フォレストは、これまで排出量の削減のためにJ-クレジットを購入しておりました。

今回、再造林の取組を J-クレジットとして創出することにより、再造林活動の費用の一部に充て、継続的な森林保全の取組みを進めていくことを考えております。これまで地元自治体や森林組合などと一緒に取り組んできた「山林事業」の知見を活かし、その取組みの中で現在、森林を売却したい個人や法人などから伐採跡地等を購入し、再造林が計画されていない森林において、「再造林活動」にも取り組んでおります。

その「再造林活動」と森林経営をつなげる取組みとして、今回 J-クレジット制度※1に申請し、FO-O03のプログラム型案件に登録されました。

イラスト：「J-クレジット制度 説明イラスト」

「出典：J-クレジット制度 ホームページ」



■全国2例目となるプログラム型「再造林活動」プロジェクト

2013年からスタートした J-クレジット制度では、同制度で認められた CO₂などの温室効果ガスを削減する技術や吸収する方法（方法論）に該当する必要がある、2024

年8月時点までに1000件以上の案件(1,152件)が登録されており、認証されたクレジット量は1000万t-CO₂を超え、非常に注目を集めています。

今回日本フォレストが登録された取り組みは、伐採されて森林が植えられていない上、新たに植林を行うことが予定されていない土地(無立木地)を買い取り、森林を植え育てる計画を立てて、植林を行う活動(『再造林活動』)です。

この再造林活動は、2022年に新しく追加された方法論で、この方法論で登録されているプロジェクトは2件(2024年10月時点)だけとなっております。

さらに、今回登録されたプロジェクトは、日本フォレストだけでなく、九州地域で再造林活動を行いたいと考えている方が、当該プロジェクトに参加したいとお申し出いただければ、一緒に取り組み事が可能となる「プログラム型」と呼ばれる方式で、今回の『再造林活動』で、プログラム型で登録された事例は全国初となります。

写真：今回申請した鶴河内地区(1例)の現場の写真



■日本フォレストだけでなく、九州の皆さんで応援する森林づくりを
今回の日本フォレストのプロジェクトは、「九州地域で伐採されてしまった木々をもう一度緑のあふれる森にしたい、でも、植林活動や育林活動をするのは難しい」と考えている地元の企業や市民の皆様の思いを支援する取り組みになります。

日本フォレストではこれからも植林の予定のない無立木地を購入し、再造林活動を進めていくとともに、その思いに賛同し、植林の予定のない土地に日本フォレストと一緒に再造林活動を行うことによって、九州地域の森づくりに貢献し、さらにCO2を吸収することによって得られる環境価値を形にすることで、再造林活動に係る費用になります。

日本フォレストと一緒に今回の再造林活動プロジェクトに参加したい、一度話を聞いてみたいと希望される九州地域の企業や団体、市民の方は日本フォレストまでお問い合わせいただければ、担当者からご説明させていただきます。

今回登録された「再造林活動」のプロジェクトが木質バイオマスを通して、九州地域の森づくりを応援する日本フォレストが、2050年のカーボンニュートラルに向けた取組の一助になれるよう、これからも尽力してまいります。
今後ともよろしく願いいたします

J-クレジット制度 J-CREDIT SCHEME プロジェクト登録証

プロジェクト番号： JCS-PJ00477

プロジェクトの名称
九州木質バイオマス発電における再造林活動プロジェクト

プロジェクト実施者名
日本フォレスト株式会社

代表者氏名
森山 和浩 様

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、J-クレジット制度実施要綱に基づき、J-クレジット制度に登録いたします。

登録申請日：2024年11月25日
J-クレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

【お問い合わせ先】

日本フォレスト株式会社 山林事業本部
電話：0973-26-0750